

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	身近な接客	事務局	259
学校名	新庄市立日新中学校	氏名	山本 姫愛

私は、いつもなにげなく使っているコンビニで職場体験をしました。実際に働いてみてはじめて分らないコンビニの工夫がありました。

体験先では、ほぼすべての仕事を体験させていただきました。まず、初めはオーナーさんからの話を聞きました。基本四原則というものがあり、「フレンドリーサービス」、「クイニネス」、「鮮度管理」、「品揃え」の四つがあると教えてくれました。特に「フレンドリーサービス」では

「例えば、新庄弁で話すお客様がいたとき、標準語で接客するか、新庄弁で接客するか、どちらのほうが点数が高いと思う？」

と聞かれました。私は、新庄弁で話すお客様でも、お客様には、ていねいな言葉じゃないといけないと思ひ、標準語で接客しないといいないと思ひました。正解は標準語は100点、新庄弁は100点なんだと教えてくれました。もちろん、すべてのお客様に新庄弁で

接客するわけではなけれど、人によって変えることで、フレンドリーな接客になるとおっしゃっていました。話が終わった後に、他の店員さんを見てみると、おはあちゃんとお新庄弁で話していました。確かに、新庄弁のほうがフレンドリーだなと感じました。次に、仕事を実際に体験しました。

ふくろすめは、バランスを考えて、入れ終わったら一度もってみて、バランスがいいかどうか確認しました。また、レジの横にある、チラシ入れの裏に割りばしが1本入っていました。なぜあるか聞くと

「チラシが後ろにたみれないように、割りばしを入れてささえているんだよ」

と答えてくれました。

いつも使っているときは見えなけれど、裏側から見ると、いろんな工夫があるんだなと体験して分かりました。

「仕事をする」ということをしっかり分かっているつもりではいたけど、  
仕事には、お客様から見える工夫と、お客様からは分からない  
工夫の2つがあるんだと、今回の職場体験で分かりました。  
これからの将来を考える際に、学んだことを生かして、  
自分の人生を深められるようにしたいです。